

26日のプロ野球ドラフト会議で、ソフトバンクから指名された青森山田高校3年の内野手・川原純平と、八戸学院大4年の投手・中道佑哉が28日、球団の福山龍太郎アマスカウトチーフと作山和英アマスカウトチーフ補佐の指名あいさつを受けた。

ソフトB2選手に指名あいさつ



福山チーフと作山チーフ補佐から受け取ったサインボールを手に、入団に向け意気込む中道

中道（八学大）「早く支配下に」

育成2位

育成2位指名の中道は、八戸市の八戸学院大でスカウトたちから王

貞治会長や工藤公康監督直筆のサインボールなどを受け取り、「少し実感が湧いた」と笑顔を見せた。中道は「パ・リーグにはいい打者がたくさんいるので、要所で起用される投手になりたい。まずは一日でも早く支配下になれるように結果を残していく」と決意を新たに示した。

福山チーフは「変化球が武器の左腕で、先発、継ぎともに起用する場面が多い」と評価。「体づくりから取り組み、球速や制球をもつランク上げていければ」と今後の成長に期待した。作山チーフ補佐は「大学1年の頃から見てきた選手。堅実に野球に取り組む人間性も伸びしろを感じさせる」と話した。（工藤慎子）